



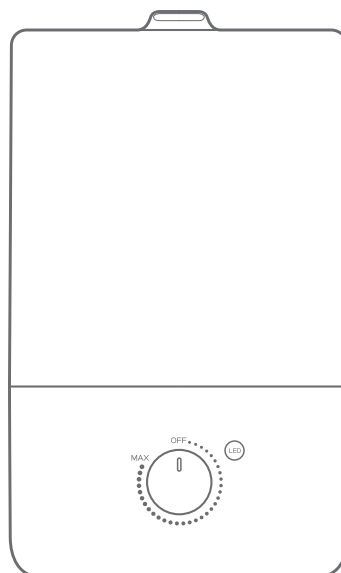
保証書付

超音波加湿器
DH-U304
取扱説明書

このたびは、超音波加湿器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、取扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途での使用はしないでください。思わぬ事故になります。



愛情点検

長年ご使用の加湿器の点検を！！



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- ・電源を入れても動かないときがある。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・運転中に異常な音や振動がする。
- ・こげ臭いにおいがする。
- ・電源プラグ、電源コード、本体などが異常に熱い。
- ・その他の異常、故障がある。

ご使用中止

故障や事故の防止のため、運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。なお、点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

●この製品は海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

147mm×180mm

K=80%

安全上のご注意

ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。以下の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ずお守りください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。

- 修理技術者以外は、絶対に分解したり改造したりしないでください。
発火したり、異常動作でケガをする恐れがあります。
- 交流100V以外では使用しないでください。
異常過熱して火災の原因になります。
- 電源プラグにホコリが付着している場合は取り除いてください。
- 電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。
- 異常時（こげ臭い、発煙など）は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、運転を停止してください。
- 使用後（使用しない時）は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
火災・ショート・感電の原因となります。
- 本体の隙間にピンや針金などの金属物等、異物を入れないでください。
- ぬれた手で、電源コードを抜き差ししないでください。
- 小さなお子様だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。
感電・ケガの原因となります。
- 梱包用袋は小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
誤ってかぶると、窒息したり事故の原因になります。
- お手入れや給水する際は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
感電・ショート、故障・異常動作でケガの原因となります。
- お手入れをおこなわずに本製品を使用し続けしないでください。
使用後は必ずお手入れをおこなってください。雑菌やカビなどが増殖し、健康を害する恐れがあります。
- お手入れには、絶対に塩素系・アルカリ性の洗剤を使用しないでください。
洗剤が残った場合、有毒ガスが発生する恐れがあります。
- ミストは故意に吸入しないでください。
健康を害する恐れがあります。
- 本体やLEDライトに水をかけないでください。
漏電して感電・ショートの原因になります。
- 万が一ご使用中に気分が悪くなったり、風邪などの症状や咳・発熱等が現れたらすぐに運転を中止してください。
高温・多湿の環境で使用されますと、まれに体調を崩す場合があります。特に小さなお子様や、ご高齢の方はご注意ください。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負うことが想定されるか物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

- **カーペットやふとんの上、傾斜があって不安定な場所では使用しないでください。**
本体が転倒して水が漏れ、周辺の内装品に損害が出る恐れがあります。
- **壁や家具、カーテン、天井、衣類の近くに置かないでください。**
シミ・変色・変形の原因になります。
- **ミストが直接あたる場所に電気製品、時計、パソコン等の精密機械を置かないでください。**
湿気によって故障・誤動作の原因になります。
- **加湿量は周辺環境(室温・湿度)に注意して調節してください。**
過剰加湿によって、周辺の床や家具などが濡れる恐れがあります。
- **下記の状況で使用の際は、過剰加湿による床や家具の濡れにご注意ください。**
 - ・ 室温が低いときや、湿度が高い状態 ・ 窓際(室温が低いため) ・ 空調機器などの風が当たる場合
 - ・ 室内が無風状態で霧がうまく拡散できない状態 ・ 加湿量を最大で運転する場合
 - ・ 狭い場所や閉め切った場所での使用 ・ 低い台の上や直接床に置いての使用
- **本製品は周辺環境が、室温：5～35℃ 湿度：60%以下のところでご使用ください。**
特に室温が低すぎると、超音波振動部やモーターなどがうまく動作せず、加湿量が少なくなるなど不具合の原因になります。
加湿量が少ないと感じたら、一旦運転を停止し室温を上げてから、本製品を1時間ほど室温に慣れさせ運転を再開してください。
- **室温・水温・水質などの影響で、運転開始直後は加湿量が少ない場合があります。**
故障ではありません。しばらくすると加湿量が安定します。
- **直射日光の当たるところや、暖房器具の近くなど高温になるところには置かないでください。
(石油・ガス・電気ストーブの近くや、電気カーペットの上など)**
熱により水タンク内の空気が膨張し、水タンクから必要以上に水が押し出されて水槽の水位が上がるため水漏れしたり加湿量が少なくなるなど不具合の原因になります。
- **水タンクや水槽には常温の水道水以外は入れないでください。**
※水道水(飲料用)は、抗菌処理がされているので、カビや雑菌の繁殖を抑えてくれます。
極端に冷たい水やお湯などは、不具合や故障の原因になります。
- **水タンクふたは必ずしっかりとしめてください。**
水タンクふたをしめた後、ふたを下側にして両手で水タンクを持ち、軽く振って水漏れがないことを確認してください。
(数滴落ちる程度は正常です。)
- **水タンクや水槽内に水が入った状態で、本製品を持ち上げて移動しないでください。**
本製品が傾くと、必要以上に水槽の水位が上がって不具合が起きたり、内部に水が入り故障の原因になります。
移動する際は必ず水タンクを外して、水槽内の水を捨ててからおこなってください。
- **水タンクを本体にセットした後は、水タンクを何度も持ち上げないでください。**
持ち上げるたびに水位が上がリ、加湿量が少なくなるなど不具合の原因になります。

安全上のご注意(つづき)

▲ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負うことが想定されるか物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

- 吹出力カバーをはずしたまま運転しないでください。
水が噴き出して、周辺の床や家具に損害が出る恐れがあります。
- ご使用中に超音波振動部や水槽内の水柱を指などで触れないでください。
痛みを感じる場合があります。
- 抗菌カートリッジをはずした状態で使用しないでください。また交換時期は必ず守ってください。
抗菌カートリッジの効果がなくなると、雑菌が繁殖したり、異臭を放つ可能性があります。
交換目安は約6ヶ月です。必ずセットして使用してください。
- 超音波振動部やフロートのお手入れは必ずおこなってください。(使用後は毎回おこなってください)
お手入れを怠ると汚れが固着して取れなくなり、故障や水漏れの原因になります。
- 本体を水に浸したり、丸洗いしないでください。
底部の電気部に水が入ると、ショート・故障の原因になります。
- 水を捨てる際は、必ず排水方向指示にしたがって排水してください。
本体内部の基板等に水が入り、ショート・故障の原因になります。
- 本製品を乾燥させる場合は、直射日光に当てず、陰干しでおこなってください。
本体が変色・変形を起こす場合があります。
- 水タンクの水は毎日新しい水に入れかえてください。
雑菌・カビが繁殖し、異臭の原因になります。
- 本製品は室内用及び家庭用です。屋外や業務目的で使用しないでください。
不具合・故障の原因になります。
- アロマオイルを使用する時は、オイル自体の注意書に従い、添加量に注意してください。
アロマオイル(天然抽出成分100%)以外の合成香料を使用したり、多量のオイルを入れたりしないでください。
- アロマオイルを直接水槽や水タンクに入れないでください。
芳香成分でプラスチックが変質して割れてしまい、水漏れなど故障の原因になります。
また、超音波振動部に影響を及ぼし、加湿量が少なくなるなど不具合の原因になります。
- アロマオイルをアロマトレイに規定量以上入れないでください。
製品のプラスチック部分に変質し、故障や水漏れの原因になります。
鼻が香りに慣れてしまった場合は、違う香りに替えてみてください。

ご使用になる前に

周辺環境のご注意

本製品は超音波振動により、水を細かな霧状にして噴霧する加湿器です。

- 周辺環境が **室温：5～35℃ 湿度：60%以下** のところで使用ください

※室温・水温・水質などの影響で、電源を入れた直後は加湿量が少ない場合がありますが故障ではありません。しばらくすると加湿量が安定します。

- **湿度40～60%**を保つように加湿量を調節してください

※過剰加湿で床や家具を濡らす恐れがあります。

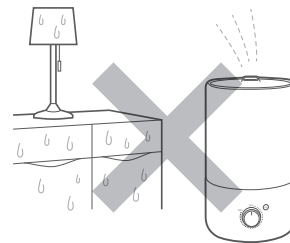
- ダイニングテーブルなどの**高い位置**に設置すると空気中に気化しやすくより効果的です。

※下記の場所では、使用しないでください。

・電気製品、時計、パソコン等の精密機器の近く ・家具、壁、カーテン、天井の近く ・磁気の多いところ ・エアコンの風が当たる場所など
・直射日光の当たるところ ・暖房器具の近く(1m以内)など高温になる場所(石油・ガス・電気ストーブの近くや、電気カーペットの上など)

▲ 注意

- 長時間同じ場所で使用すると、白い粉が付着したり材質・塗料によっては変形・変色(シミ等)する場合があります。
- 加湿器の下に布や市販の水漏れ防止シートなど敷いて使用してください。また、低い場所で使用すると床がぬれる場合がありますので、床から50cm以上離れた場所に設置してください。



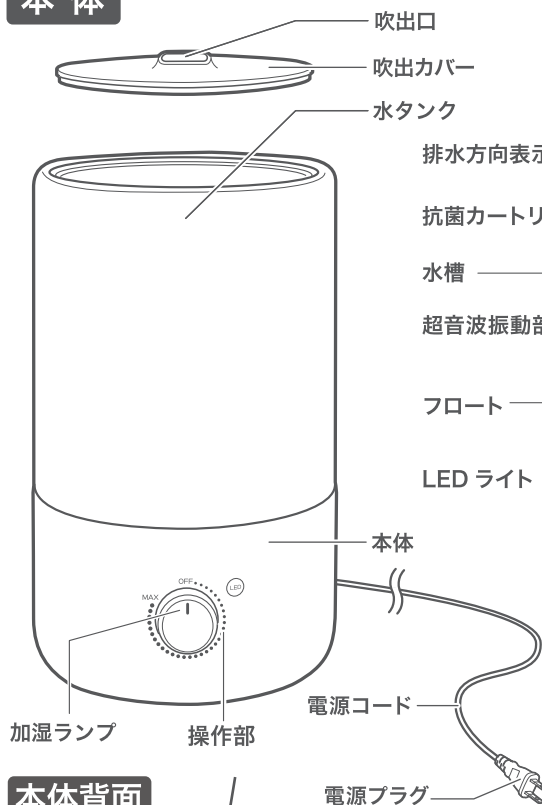
使用上のご注意

- ご使用中に気分が悪くなったり、風邪などの症状や咳・発熱等が現れたらすぐに運転を中止してください。
- 水タンクや水槽には常温の水道水以外は入れないでください。
- 水タンクふたは必ずしっかりとしめてください。
- 水タンクや水槽内に水が入った状態で、本製品を持ち上げて移動しないでください。
- ご使用中は超音波振動部や水槽内の水柱を指などで触らないでください。
- 水タンクの水は毎日新しい水に入れかえてください。
- 超音波振動部やフロートのお手入れはこまめにおこなってください。
- お手入れや給水する際は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- アロマオイルを水槽や水タンクに入れないでください。
- アロマトレイにアロマオイルを規定量以上入れないでください。

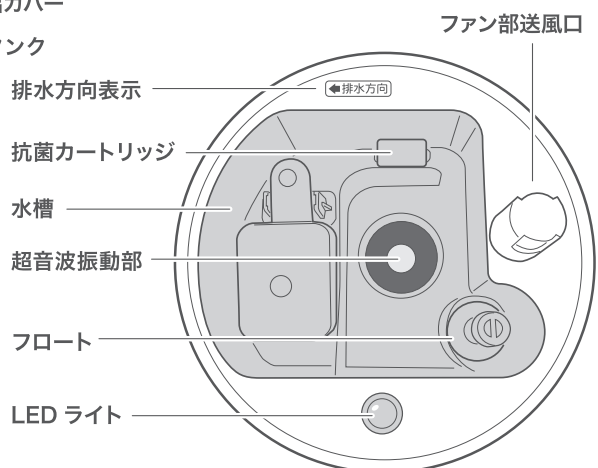


各部のなまえ

本体



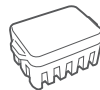
本体内部



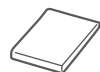
▲ 注意

- 抗菌カートリッジは必ず本体に取り付けてご使用ください。
- 残った水は、必ず排水方向表示の指示方向にしたがって捨ててください。
- 超音波振動部は使用後毎回必ずお手入れをおこなってください。

付属品

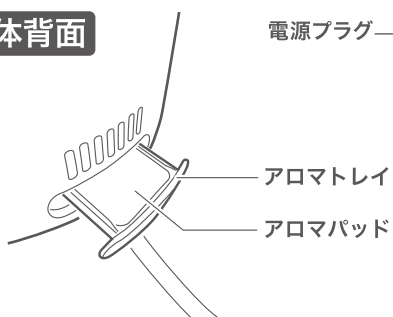


抗菌カートリッジ
(本体に設置済みです)



アロマパッド(3枚)
(本体に設置分を含みます。)
※アロマオイルは付属して
おりません。

本体背面



使いかた

1. 水タンクに水道水を入れる タンクを本体にセットしたまま 給水する場合

① 吹出カバーをはずす

② 水道水を入れる

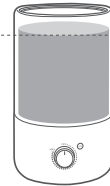
ペットボトルややかんなどで水道水を給水します。

③ 吹出カバーをしめる

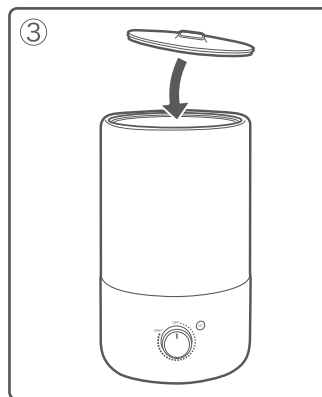
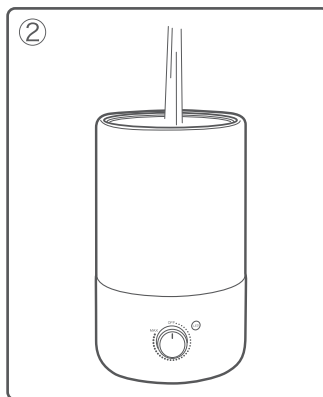
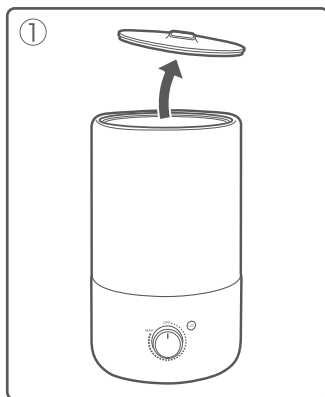
▲ 注意

満水になるまで水道水を入れ
約1cmぐらい残してストップしてください。

STOP!!



設置する際
水道水が溢れる場合が
あります

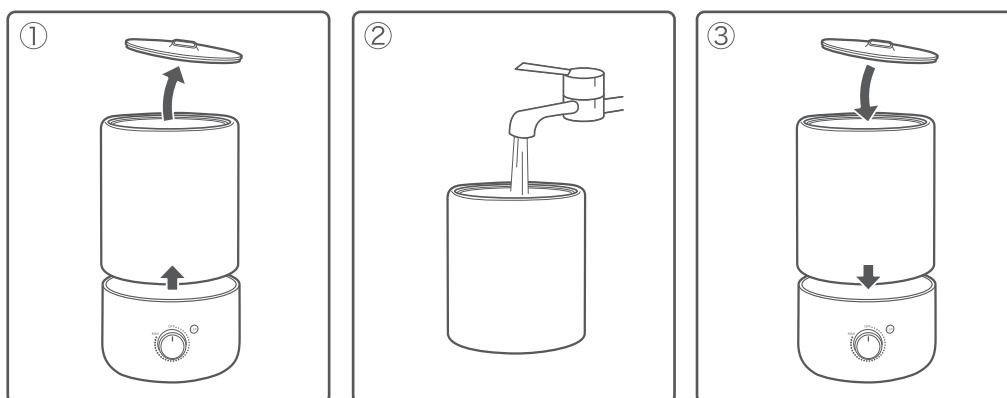


使いかた

1. 水タンクに水道水を入れる

タンクをとりはずして給水する場合

- ① タンクを本体からはずし、吹出カバーをはずす
- ② 水道の蛇口などで水道水を入れる
- ③ タンクを本体にセットし、吹出カバーをしめる



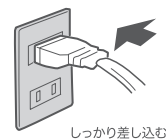
▲ 注意 下記のことをタンク内に入れないでください。

・アロマオイル ・アロマウォーター ・浄水器の水 ・アルカリイオン水 ・ミネラルウォーター ・井戸水
・汚れた水 ・お湯(40℃以上の温水) ・抗菌処理していないもの ・化学薬品 ・芳香剤 ・水以外のもの

使いかた(つづき)

2.電源プラグをコンセントに差し込む

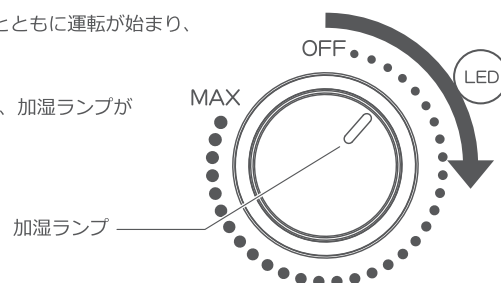
電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。
※プラグにホコリ等が付着していたら必ず取り除いてから差し込んでください。



3.運転を開始する

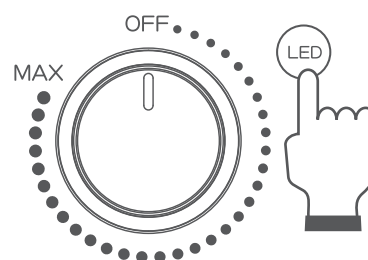
ツマミを右に回すと加湿ランプが緑色に光るとともに運転が始まり、加湿量が調節できます。

※ツマミを左に OFF まで回すと運転が停止し、加湿ランプが消灯し電源が切れます。



4.LED ライトを入 / 切する

LED ボタンを押すと LED ライトの入 / 切ができます。

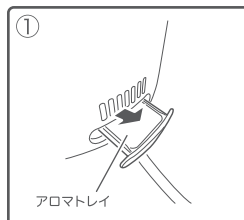


使いかた(つづき)

5. アロマを使用する ※お好みのアロマオイルを用意して、付属のアロマパッドに染み込ませます。

① 本体からアロマトレイを取り出す

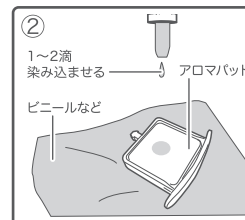
アロマトレイを押すと本体から少し出てきますので、さらに引っ張り出してください。



② アロマパッドにアロマオイルを1~2滴染み込ませる

オイルがこぼれないように、ビニールなどをトレイの下に敷いてから滴下してください。

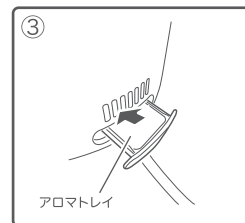
※アロマオイルを染み込ませ過ぎないようにご注意ください。



③ アロマトレイを本体にセットする

アロマオイルが本体に付かないように気をつけながらゆっくりセットしてください。

アロマトレイを本体に軽く押し込むと固定されます。



⚠ 注意

アロマオイルの注意書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

- **水タンクに直接アロマオイルを入れないでください。** 本体が変形・割れにより水漏れする恐れがあります。
- 本体やアロマトレイにアロマオイルが付着した時は、すぐに洗い流すかきれいにふき取ってください。
本体のプラスチック部に付着すると、芳香成分によっては割れ・変色・変形する恐れがあります。
- アロマトレイを引き出す際、本体の水こぼれに注意してください。
- 本体を移動する際は、アロマトレイを落とさないよう注意してください。
- 天然抽出物(100%)以外の合成香料などは使用しないでください。
- アロマ機能は使用しなくても問題はありませんので、お好みでお使いください。
- アロマトレイにアロマオイルを規定量以上入れないでください。



使いかた(つづき)

6. タンクの水が空になった場合

■ 自動停止機能

電源を入れたまま加湿器内の水が少なくなると、加湿ランプが緑色から赤色になり、加湿運転が自動で停止します。その後は下記のように対応してください。

① 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

水が電源プラグやコンセント差し込み部に付着しないように気をつけてください。
※電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

② 水タンクと本体の残った水を捨て、お手入れをおこなう

お手入れ方法はP11-12をご参照ください。

③ 続けて使用する場合は給水する

必ず新しい水に入れ替えてください。そのまま使うと、カビや雑菌が繁殖し、健康を害する恐れがあります。

⚠ 注意

しばらく使用しない場合は本体、水タンクの中をしっかりと乾燥させて保管してください。
※表面や内部が濡れているとカビや細菌の繁殖、異臭などの原因になります。
※本体内部、超音波振動部に鉱物が付着していないか確認してください。溜まっていたらお手入れをおこなってください。

7. 水タンク、本体に残った水を排水する

① 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

水が電源プラグやコンセント差し込み部に付着しないように気をつけてください。
※電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

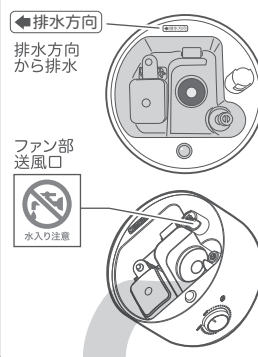
② 本体に残った水を捨てる

水を捨てる場合は、必ず排水方向表示にしたがって排水してください。
※排水方向表示と違う方向から排水すると、本体の内部に水が侵入し、故障する可能性があります。
本体の水を捨てる場合は、必ず水を残さず捨ててください。
※水を捨て切らないとカビや細菌の繁殖、異臭などの原因になります。
※排水の際は、ファン部の送風口に水が入らないようご注意ください。

③ 水タンクに残った水を捨てる

タンクの水を捨てる場合は、必ず水を残さず捨ててください。
※水を捨て切らないとカビや細菌の繁殖、異臭などの原因になります。

本体の排水方向表示



お手入れ

重要

使用経過による、性能低下・悪臭・汚れ・細菌繁殖を防止する為に使用後は毎回必ずお手入れをおこなってください。

お手入れに関してのご注意

- 本体の丸洗いはしないでください。本体内部に水が入り、故障の原因になります。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥機に入れて乾燥させないでください。
- ペンジン・シンナー・アルコール・洗剤・クレンザー・漂白剤・金属たわし
化学ぞうさんなどは使用しないでください。
- お手入れ後は各部品を、必ず元通り正しい位置に取り付けてください。

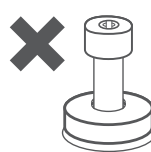


1.お手入れの準備をする

- ①電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
水が電源プラグやコンセント差し込み部に付着しないように気をつけてください。
※電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず電源プラグをもって抜いてください。
- ②吹出カバー、水タンク、水タンクカバー、抗菌カートリッジを本体から外す
外すときは、本体や抗菌カートリッジ、部品に残った水がこぼれる恐れがあるため、タオルなどを敷いて作業してください。
- ③本体、水タンクに残った水を捨てる
本体の水を捨てる場合は、必ず排水方向表示にしたがって排水してください。

2.本体のお手入れ (フロート、超音波振動部)

- 使用後は毎回必ずお手入れをおこなってください。
- 本体内部(フロート)、超音波振動部についたカルキ分などの白い粉を
水を浸した布などで拭き取るか、ブラシで軽くこすって
落としてください。
※お使いの水道水の鉱物成分やご使用頻度によって、汚れ付着の度合いが異なることがあります。
- フロート底面が汚れていると、フロートがこびりついて浮かなくなり、ミストが出なくなる場合がありますので、入念にお手入れしてください。
※お手入れの際は、ファン部送風口に水が入らないようご注意ください。
内部に水が浸入し、故障の原因になります。
※ブラシのプラスチック部を力強く押し付けたりこすったりしないでください。超音波振動部の割れ、ゆがみが発生し、本体内部に水が浸入する恐れがあります。



水を入れたり、本体を振っても水位センサーが浮上しない状態。



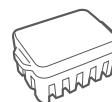
水位センサーが上下に移動し、水を入れると浮上する状態。

お手入れ(つづき)

3.各部品のお手入れ

抗菌カートリッジのお手入れ

- 水道水で軽く水洗いしてください。
- カルキなどの取れない汚れは、ブラシで軽くこすってください。
※洗剤・クレンザー・漂白剤・金属たわし・化学ぞうきんなどは使用しないでください。



■カートリッジの交換

- 抗菌カートリッジの寿命目安は約6ヶ月です。交換時期が来たら必ず新しいカートリッジに交換してください。

水タンクのお手入れ

- 水タンクに水を入れ、すすぎ洗いをします。
- 底面などについたカルキなどの取れない汚れは、ブラシで軽くこすってください。
※お使いの水道水の鉱物成分やご使用頻度によって、汚れ付着の度合いが異なることがあります。
※水タンクにヒビや割れがあると水漏れを起こし使用できなくなります。取り扱いには十分にご注意ください。
※表面に残った水滴は悪臭・カビ等の原因になりますので、乾いた布で拭き取ってください。

吹出口のお手入れ

- ブラシを使用し、水洗いをしてください。汚れがひどい場合は家庭用中性洗剤で洗い、よくすすいでください。
- 乾いた布で水気をしっかりと拭き取ってください。
※お使いの水道水の鉱物成分やご使用頻度によって、汚れ付着の度合いが異なることがあります。
※表面に残った水滴は悪臭・カビ等の原因になりますので、乾いた布で拭き取ってください。
※吹出カバーのふちを強く持ったり、指をすべらせたりするとケガをする恐れがあります。

4.長期間ご使用にならない場合

■本体・部品の乾燥

- お手入れ後は、付着した水を乾いた布で拭き、陰干しで自然乾燥してください。
- 抗菌カートリッジは本体から取り外して、十分に乾燥させてください。

■保管について

- お買い上げ時のポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない湿気の少ない場所に保管してください。

▲ 注意

※よく乾燥させないまま収納しないでください。カビの発生・悪臭の原因になります。
※旅行などで数日間使用しない場合は水タンク本体内部・水槽などに残った水をすべて捨ててください。

故障かな?と思ったら

使用方法を誤ると、次のような症状が起こり、故障と間違われることがあります。
お買い上げの販売店または、弊社にご相談になる前に、下記の表でチェックしてください。

症 状	原 因	処 置 ・ 確 認
電源が見つからない ミストが出ない	電源プラグが正しく差し込まれていますか?	電源プラグを正しく差し込んでください。
	本体と水タンク・部品が正しくセットされていますか?	正しくセットされているか確認してください。
	タンクの中に水は入っていますか?	水がなくなると自動停止します。 給水し、水タンクをセットして水が水槽を満たす [※] と運転します。
	室温が低すぎませんか?	室温・水温・水質の影響で、電源を入れた直後は加湿量が少ない場合があります。 しばらくすると加湿量が安定します。
ミストが少ない 出ない	超音波振動部が汚れていませんか?	お手入れをおこなってください。
	フロートが水に沈んでいませんか?	フロート底面が汚れていると、フロートがひっついて浮いてこず、ミストが出なくなります。 フロート底面のお手入れをおこなってください。
	室温が低すぎませんか?	室温・水温・水質の影響で、電源を入れた直後は加湿量が少ない場合があります。 しばらくすると加湿量が安定します。
	水タンクや水槽にアロマオイルやアロマウォーターを入れていませんか?	全ての水を排水してよく洗い 新しい水に入れ替えてください。
超音波振動部に異物が溜まる	お使いになっている水道水に含まれるカルキ・塩素などの成分です。	加湿性能に影響しますので、お手入れをおこなってください。

※水槽内の適切な水量は、P8を参照ください。

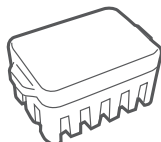
製品仕様

本体サイズ	幅175x奥行き175x高さ295mm(約)	連続加湿時間	約10時間 ※使用状況、環境により異なります
本体重量	約1.4kg	電源コード	約1.5m
定格電圧/周波数	AC100V 50/60Hz共用	材 質	本体/ABS、PP、水タンク/AS
消費電力	23W	付 属 品	抗菌カートリッジ、アロマパッド(3枚)
加湿量	約300mL/h	適用床面積	約5~8畳 ※使用状況、環境により異なります
水タンク容量	約3L		

銀イオン抗菌カートリッジの交換について

- 銀イオン抗菌カートリッジの寿命目安は約6ヵ月です。
交換時期が来たら、必ず新しいカートリッジに交換してください。

別売品



交換用銀イオン抗菌カートリッジ

DH-AG121

JAN:4949321580289

お求めは、お買上げの販売店または弊社にお申し込みください。

株式会社おおたけ ホームページ

<http://ohtake-since1978.jp/>



加湿器保証書

本書は、お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合に、下記内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

< 無料修理規定 >

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で保証期間中に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ)無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に製品と本書をご持参いただき、お申しつけください。
(ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、株式会社おおたけにご相談ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店または株式会社おおたけにご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、株式会社おおたけへご連絡ください。
- 保証期間中でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
(イ)ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の落下、移動、輸送などによる故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数など)による故障及び損傷
(ニ)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ)一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
(ヘ)本書のご提示のない場合
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内において有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は、盗難、火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者は(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または株式会社おおたけにお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期限については取扱説明書をご覧ください。

品番	DH-U304		
保証期間	対象部分	期間(お買い上げ日より)	保証の条件
	本体	1年	持込修理
お買い上げ日	年 月 日		
お客様	お名前 ご住所 電 話	様	
販売店	販売店名 ご住所 電 話	印	

株式会社 おおたけ

おおたけコールセンター TEL 024-983-5881

〒963-0112 福島県郡山市安積町成田字三渡7-1

受付：午前9時～午後0時・午後1時～午後5時(土日曜日、祝祭日、年末年始、お盆を除きます。)

147mm×180mm

K=80%